

令和6年度

事業報告書

◇株式会社 ひなたぼっこ

◇デイサービス ひだまり
・地域密着型通所介護

◇デイサービス えんがわ
・地域密着型通所介護

◇ディサービス にじいろ
・地域密着型通所介護

株式会社 ひなたぼっこ 事業報告書

1 法人理念

- ・利用者やご家族の皆様から信頼される事業所を目指します。

「皆様からの信頼を得るために、出来る限りの受入れを致しました。昨年度同様に、事前情報で暴力行為があるという方でも受け入れし、限界まで誠意を尽くさせていただきました。他利用者に危害が及ぶ危険性もありましたが、先ずは行ってみてからの判断をしたため、本人・ご家族からは納得していただいております。また、初年度にひだまり事業所でも受け入れいたしました。えんがわ事業所でも昨年度に看取り介護の方を行いました。」

- ・優しさと温かさに満ちた事業所を目指します。

「昨年度同様、暴力行為を受けたとき又は受けそうになった時でも、対話をもって沈静させております。時には親子喧嘩・兄弟喧嘩のような口論になるときもありますが、結果的には温かい対応だと利用者様とご家族様からお言葉をいただいております。全事業所同様の対応をいたしております。」

- ・明るく元気のある事業所を目指します。

「若い職員が半数以上を占める事業所ですので、皆、明るく活発に従事してくれております。職員の入れ替えは数人ございましたが、後任職員たちは今までより明るく従事しております。」

- ・地域に開かれた事業所を目指します。

「法律に定められている運営推進委員会を年に二回の開催をしており、地域の方々にご報告させていただいております。今年度より、新たな事業所として

長野県安曇野市に『デイサービスにじいろ』を12月に開所致し、概ね順調な滑り出しをしております。」

2 運営方針

利用者様が安心して充実した環境や利用者本位のケアを提供し、ご家族、地域の皆様とのふれあいにより事業所の温かさが一層感じられるようなサービスの提供に努めます。

利用者様本位のサービス提供することによって、『第二の我が家』に近づけるよう努めます。

今年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルスに職員だけでなく、利用者およびそのご家族にも感染防止に努めます。

「ご利用者様本位のケア計画を作成し、サービス提供することによって、『第二の我が家』に近づけるよう努めました。

また、介護記録（ケース記録）を介護計画書に準じて記録することにより、モニタリングを行いやすくいたしました。ケアマネジャー様やご家族様への報告がより適宜に行うことができ、安定した利用者確保に努めました。

法人理念でも述べた通り、ご利用者様及びそのご家族様からは信頼いただいているように思われます。今年度はインフルエンザ感染の方もいらっしゃいましたが流行までには至りませんでした。

当年度の資金収支は1,864,965円のプラス、事業活動収支は25,338,754円のマイナスとなりました。

3 株主総会（地域運営推進会議兼務）の開催

令和6年5月27日 午前10時00分 開催 同 10時50分閉幕

5月 年度事業報告、決算の承認（注1）

3月 翌年度 事業予算案、事業計画の審議 （注2）

※ 上記以外の地域運営推進会議は必要に応じて開催。

※ 株主総会は決算報告時に開催

（注1） ひだまり事業所は令和6年5月26日に、
えんがわ事業所は令和6年5月29日に実施。

（注2） ひだまり事業所は令和7年3月26日に、
えんがわ事業所は令和7年3月28日に、
にじいろ事業所は令和7年3月25日に実施。

4 事業運営

1 第二種社会福祉事業

地域密着型 通所介護（デイサービス ひだまり）経営

目標として、実人数20名（月）延べ日数300日、平均利用人数10.0人を目指す。

4月	実人数23名	延べ日数301日	活動日数30日	平均利用人数10.0人
5月	実人数22名	延べ日数300日	活動日数31日	平均利用人数9.7人
6月	実人数20名	延べ日数289日	活動日数30日	平均利用人数9.6人
7月	実人数23名	延べ日数316日	活動日数31日	平均利用人数10.2人
8月	実人数21名	延べ日数309日	活動日数31日	平均利用人数10.0人
9月	実人数21名	延べ日数275日	活動日数30日	平均利用人数9.2人
10月	実人数21名	延べ日数317日	活動日数31日	平均利用人数10.2人
11月	実人数23名	延べ日数310日	活動日数30日	平均利用人数10.3人
12月	実人数23名	延べ日数285日	活動日数31日	平均利用人数9.2人
1月	実人数20名	延べ日数291日	活動日数31日	平均利用人数9.4人
2月	実人数19名	延べ日数255日	活動日数28日	平均利用人数9.1人
3月	実人数18名	延べ日数237日	活動日数31日	平均利用人数7.6人
合計	実人員254名	延べ日数3485日	活動日数365日	平均利用人数9.5人
（昨年）	238	3160		

8.6)

昨年度と比べると増加しており良好と思われまゝす。しかし、今年度末には激減しております。原因としては、お泊り利用者の利用中止（死亡・入院・施設入所

）が相次いだのは仕方ないのですが、介護員不足による営業活動の縮小を余儀なくされたと考えられます。

令和7年4月には職員不足は解消に向かいます。ひだまり事業所最大利用数の308日（令和5年4月）を令和6年10月には317日と当事業所の最大利用者数を更新しました。今年度の平均利用人数も最高の平均人数を更新し、今後も、皆様への感謝を忘れずに、日々なお邁進する所存でございます。

地域密着型 通所介護（デイサービス えんがわ）経営						
目標として、実人数20名（月）延べ日数330日、平均利用人数11.0人を目指す。						
4月	実人数	8名	延べ日数	130日	活動日数	30日 平均利用人数4.3人
5月	実人数	9名	延べ日数	133日	活動日数	31日 平均利用人数4.3人
6月	実人数	10名	延べ日数	165日	活動日数	30日 平均利用人数5.5人
7月	実人数	12名	延べ日数	178日	活動日数	31日 平均利用人数5.7人
8月	実人数	13名	延べ日数	201日	活動日数	31日 平均利用人数6.5人
9月	実人数	12名	延べ日数	172日	活動日数	30日 平均利用人数5.7人
10月	実人数	11名	延べ日数	194日	活動日数	31日 平均利用人数6.3人
11月	実人数	10名	延べ日数	216日	活動日数	30日 平均利用人数7.2人
12月	実人数	10名	延べ日数	202日	活動日数	31日 平均利用人数6.5人
1月	実人数	8名	延べ日数	160日	活動日数	31日 平均利用人数5.3人
2月	実人数	7名	延べ日数	141日	活動日数	29日 平均利用人数5.0人
3月	実人数	7名	延べ日数	130日	活動日数	31日 平均利用人数4.2人
合計	実人員	117名	延べ日数	2022日	活動日数	365日 平均利用人数5.5人
(昨年		181	3561			
9.7)						

昨年度末に、大量引き抜きにあったところに比べると、今年度は新たな体制で年間平均が5人（／日）以上となったのは、営業やキャンペーンの効果があったことによる増加だと判断できますが、まだまだ不足していることには変わりはありませんので、更なる施策を講じて安定運営に繋げていきたいです。

地域密着型 通所介護（デイサービス にじいろ）経営					
目標として、実人数5名（月）延べ日数50日、平均利用人数3.0人を目指す。					
12月	実人数	4名	延べ日数	17日	活動日数15日 平均利用人数1.1人
1月	実人数	11名	延べ日数	74日	活動日数31日 平均利用人数2.4人
2月	実人数	13名	延べ日数	91日	活動日数30日 平均利用人数3.3人
3月	実人数	15名	延べ日数	115日	活動日数31日 平均利用人数3.7人
合計	実人員	43名	延べ日数	297日	活動日数107日 平均利用人数2.8人

今年度から長野県安曇野市で開所した事業ですが、初年度の割には順調と言える数字ではないかと自負しておりますが、このままでは順調とは言えないので、営業力の強化を図り、邁進してまいります。2月より総合事業を併用で行っております。

訪問介護（ヘルパーステーション にじいろ）経営					
ヘルパー併用でのデイサービスオープンと同時に始めたのですが、職員配置基準の2.5人以上が満たしておらず、1月の利用者様はいらっしゃったのですが、自主返納しております。					
12月	実人数	1名	延べ日数	5日	活動日数31日 平均利用人数0.2人
1月	実人数	名	延べ日数	日	活動日数31日 平均利用人数人
2月	実人数	4名	延べ日数	20日	活動日数28日 平均利用人数0.7人
3月	実人数	3名	延べ日数	12日	活動日数31日 平均利用人数0.4人
合計	実人員	8名	延べ日数	37日	活動日数121日 平均利用人数0.3人

令和7年5月より休業いたします。

今年度の事業活動収支増減差額は、	－25,338,754円
次期繰越は、	－54,680,385円
今年度の当期資金収支差額合計は、	1,864,965円
当期末支払資金残高は、	11,592,472円

5 新規事業の展開

今年度の新規事業は、現行事業の立て直し若しくは精算することを目標として、財務状況やニーズの高い案件はその都度検討するが、新規事業は静観する。

「今年度は、現行事業の早期の立て直しの兆しが見えたことと、ニーズの高い案件だったため、長野県安曇野市にデイサービスにじいろを12月にオープン致しました。現地のニーズを考慮して、2月より総合事業も併用致し、更なる利用者数の増加、安定運営を目指します。」

6 重点施策

(1) 経営基盤の確立・強化

現行事業所の特徴の周知と利用者の獲得強化を図る。

事業所は稼働率90%以上を目指す。えんがわ事業所は稼働率90%以上を目指す。

えんがわ事業所は稼働率42.6%。それぞれ、積極的に目標に向けて営業活動を継続するとともに、

」等」に全職員が営業マンとしての意識付けを行

「未だ管理者のみが営業マンだと思い込んでおり、一般職員への意識付けはなっていない。会議や懇親会にて植え付けるように致します。」

③ 収益を増やす方法をリスト化し、職員の協力のもとその実施を進める。

「利用者確保が最優先により、キャンペーンを行いました。宣伝効果があり一時的ですが利用者増加することが出来ました。年度末には、後期高齢者の方々なので、利用者減少してしまいましたが、キャンペーンの効果はございました。今後は、もっとホームページを活用して、利用者確保に努めます。」

(2) 人材確保と職員の資質向上

現行利用者の重度化への対応及び介護（入浴）サービスの向上のため、職員の確保と資質の向上を進める。

」等を通じて介護求職者へのアプローチの場を

」、なかなか現状より変化はありません。人」に合った方はおらず、試してみた方もいら」ませんでした。結果としては、現在は外国人の

方を複数人、雇用しております。今のところ問題は起きておりませんし、利用者様方も不便さは伺っておりません。このまま、介護の質を上げるべく、全体のレベルアップに努めます。」

2 県内の社会福祉養成校や見学の受け入れ等により、新卒や新規資格取得者の獲得を目指す。

「福祉養成高等は、当法人には時期尚早との事です。」

3 キャリアパスの実施により職員に求めるレベルを明確にし、資質の向上に繋げる。

「職員研修年間計画の実施が一部しか出来ておりません。職員の資質向上に努めます。」

4 人事考課制度を導入することのはじめとして、振り返り表を活用し、職員全体のレベルの底上げを図る。

「人事考課を導入し、職員、個人個人の課題を明確化にしております。新規事業所の安曇野事業所でも活用いたします。」

5 退職金制度を周知し、職員が安心して働き続ける環境を整備する。

「未だ法人には同制度を活用できる資金が蓄えられません。今後の課題です。」

- 6 各種マニュアルを整備し、業務手順の統一化をする。
「昨年度はひだまり事業所では管理者の擁立、えんがわ事業所では優秀な人確保することができましたので、安定した良質のサービス提供に努めました。現行のマニュアルは実態に即したマニュアルではないため、新たなマニュアル整備を再構築しなければならないと痛感いたしました。」

(3) 地域との調和

福祉資源を活かし、地域に親しまれる施設づくりを目指して、災害時の福祉避難所の役割や地域の介護支援を担い、特に今年度は、正しい感染症予防対策をすることで、地域にも浸透させ地域貢献を目指す。

- りを強化し、情報交換がより円滑に行えるよう
Pの協力施設として、社会福祉法人愛和様の施設長と交流、情報の共有を図ることが出来ました。」
3 各事業所が地域の居宅介護支援事業所や、福祉関係者、地域住民等と積極的に交流し、地域に愛される事業所を目指す。
「キャンペーン活動を通じて、新たな居宅介護支援事業所とのつながりを持つことが出来ました。実際には契約には至らなくても、現在でも問い合わせを複数件頂いております。」
4 感染症対策を正しく実施し、地域に不安を感じさせないようにする。
「今年度は、単発的にインフルエンザや新型コロナに罹患された方はおりましたが、流行という事態にはならないように予防いたしました。世間が流行していた時などは、特にマスク着用・手洗いうがい励行を心がけました。」

(4) 苦情解決への取り組み

利用者のご家族の皆様の苦情を真摯に受け止め、適切な施設運営に資するため、苦情の有効な活用を進める。

- 会)の年2回開催する。
年2回の実施をいたしました。また、新規事業所
に実施いたしました。」
実施し、サービスの向上を図る。
さんでした。出来るだけ全事業所でアンケート
の実施を行えるように努めます。」

(5) 防災訓練の実施

① 消防総合訓練の年2回の実施

万一の事態に直面しても、職員が冷静に対処できるよう、日頃から訓練を行う。

- 消防訓練(総合訓練)を伊従さん立会いの下、
職員の退職やご利用者様激減の為、実施する
全事業所で業者による年2回の消防設備点検を実施
実施
「前述同様に、職員不足だったため、研修履行には至りませんでした。次年度は、職員配置も充実しているため、実施するように努めます。」
③ 救急救命講習の実施

「前述同様に、職員不足だったため、研修履行には至りませんでした。次年度は、職員配置も充実しているため、実施するように努めます。」

5 業務継続計画（BCP）の策定

「業務継続計画策定は、にじいろ事業所では策定されております（開所に向けて策定していることが必須）。他、両事業所の下調べは出来ております。実施に向けて、各々の様式に実態に合わせた埋め込みをするだけになっております。」

（6）職員交流

- ① 福利厚生の一環として諸交流会などを衛生委員会にて企画する。
「衛生委員会は、今年度は実施に至りませんでした。法人単位で行えば良いとの事なので、モニター会議等で衛生委員会を実施できるように努めます。」
- ② それぞれの事業所ごとに歓送迎会・親睦会を適時行う。
「それぞれの事業所で、会議・懇親会を行いました。特に、にじいろは開設準備や研修も兼ねた懇親会に努めました。」

7 会議・委員会

運営会議

概ね2か月に1回実施予定でしたが、それぞれの事業所ごとに、突発的に起こった事故等の対処として臨時的に開催はしました。会議が定期的に行うことが課題です。

新規利用者検討会

概ね2か月に1回（ケース会議を含み）実施予定でしたが、ほぼ事業所ごとに実施いたしました。年度末新規利用者はいらっしゃらなかった時期もあり、定期的に開催することが課題です。

衛生委員会

事故防止・身体拘束委員会

発足させることが目標でいたが、未発足です。
その都度 臨時的に実施及びケース会議時に実施しました。

感染症対策委員会

今年度は単発的にコロナ感染・インフルエンザ感染の方がおりましたが、運営会議の中で大半は感染症対策に時間を費やして実施しました。

ホームページの更新

春夏秋冬の各事業所の行事を掲載しました。また、室内レクや室外レクは、その都度、インスタグラムで掲載しました。

8 健康管理

1 健康診断 年1回

11月～12月にかけて1年以上経過した職員に実施しました。今年度の新人職員は法人負担で行いました。

2 インフルエンザ予防接種 11月に希望職員全員に補助して実施しました。

3 新型コロナウイルス予防対策（補助金の活用） 副作用の強い症状が出る等個人の判断により実施しました。

9 研修計画

「今年度も年間研修計画の作成に至りませんでした。安曇野市での開催前に、年間研修計画を作成しなければならず、法人で共有しております。また、外国人を含めた新人職員等の研修計画を立案し、実施ができました。」